

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年09月19日

計画の名称	五條市における生活排水の適切な処理（第二次）													
計画の期間	平成28年度～平成32年度（5年間）											重点配分対象の該当		
交付対象	五條市													
計画の目標	・公共下水道の整備促進により、生活排水が適切に処理され、衛生的で安全な生活環境を確保する。 ・公共下水道施設の下水道ストックマネジメント計画を策定し、下水道施設を一体的にとらえた維持管理・点検・改築に係る計画（方針）を樹立する。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		425	A	425	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H28当初)	(H30末)	(H32末)
1	下水道処理人口普及率を49% (H27) から55% (H32) に向上させる。 下水道処理人口普及率（％）＝供用開始区域内人口（人）／行政人口（人）			
		49%	52%	55%
2	下水道施設のストックマネジメント計画策定率を0% (H27) から100% (H32) に向上させる。 ストックマネジメント計画策定率（％）＝策定済み計画数（事業計画）／策定すべき計画数（事業計画）			
		0%	100%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	五條市	直接	五條市	管渠（ 污水）	新設	未普及対策（五條第 1 - 1 処理分区）	管渠新設（Φ250）推進工法 L = 0.36km	五條市	■	■				247		-	
	A07-002	下水道	一般	五條市	直接	五條市	管渠（ 污水）	新設	効率的な施設計画の見直 し	施設計画の見直し	五條市	■						8		-
	A07-003	下水道	一般	五條市	直接	五條市	管渠（ 污水）	新設	未普及対策（五條第 5 処 理分区）	管渠新設（Φ150）開削工法 L = 0.31km	五條市		■					71		-
	A07-004	下水道	一般	五條市	直接	五條市	-	-	下水道ストックマネジメ ント実施方針策定	計画策定面積 A = 572.5ha	五條市		■					24		策定中
	A07-005	下水道	一般	五條市	直接	五條市	-	-	下水道ストックマネジメ ント計画策定	計画策定面積A=572.5ha	五條市					■	■	70		策定中
	A07-006	下水道	一般	五條市	直接	五條市	管渠（ 污水）	新設	未普及対策（五條第 2 処 理分区）	管渠新設（Φ150）開削工法 L = 0.07km	五條市		■					5		-
											小計							425		

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
											合計						425		

事 後 評 価

○ 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

五條市下水道課において実施

事後評価の実施時期

事業完了後

公表の方法

市ホームページにて公表

○ 事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

汚水管渠整備を促進したことにより、下水道処理人口普及率が向上した。
管渠のテレビカメラ調査によって、改築更新を行う箇所が判明した。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○ 特記事項（今後の方針等）

- 下水道処理人口普及率の向上を図る。
- ・汚水管渠整備の促進
 - ・効率的な事業の実施
- 下水道施設の計画的な改築更新を推進し、下水道としての機能を確保する。
- ・テレビカメラ調査等実施
 - ・修繕改築計画の策定
 - ・道路陥没や地震時等による二次災害を防止

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	55		
	最 終 目標値	55%	未整備地区の中でも、比較的人口の密集した地域を中心に事業を実施したことで目標値を達成できた。
	最 終 実績値	55%	
2	100		
	最 終 目標値	100%	当初の想定よりテレビカメラ調査等の異常判定が少なく、修繕改築計画を策定するには至らなかった。
	最 終 実績値	0%	